社団化40周年記念、海外研修旅行

台湾４日間 (平成19年10月7日～10日)

川崎南法人会海外研修会も平成14年ベトナム以来の海外研修であります。今回の参加人数は山下会長以下36名、出発当日まで台湾は台風の影響で出発を見合わせるか、延期にするかと思われましたが、7日当日には台風も去り、チャイナエアライン107便で定刻に成田を後に台湾４日間の旅に全員が元気に出発。一路台北へ、台北に到着後乗継ぎで高雄まで１時間の飛行で午後２時に到着。この日は市内観光の予定でしたが大雨のため、ホテルに３時過ぎに到着、長旅の汗を流してからホテル内のレストランで海鮮料理に舌鼓、全員疲れも忘れ海鮮料理の話等に盛り上がり時間の経つのも忘れるほどでした。

８日午前中は高雄市内の観光で、まず絢爛豪華な五甲龍成宮（ごこうりゅうせいぐう）を見学、蓮池潭（れんちたん）にある「龍虎塔」や中国建築な「春秋閣」（しゅんしゅうかく）、中国杭州の西湖十景を模して造られた澄清湖（ちょうせいこ）を見学、昼食は台湾料理で腹ごしらえ、午後は今年３月に開業した台湾新幹線、今回の海外研修最大の目的はこの新幹線見学と乗車にあり、話によれば日本、アメリカ、ヨーロッパの合作で出来たと聞いております。高雄・台北間２時間の旅でしたが非常に乗心地は快適でした。台北には午後４時に到着、専用バスでホテルへ、夕食は広東料理、旅も二日目になるとお互に親しくなり、テーブル毎に笑いが飛び交う。夕食後は台湾の有名な夜店等にそれぞれグループに分かれ台北の夜を楽しみました。

９日朝食後専用バスで台北の市内観光は、忠烈祠（ちゅうれつし）で、豪壮な中国宮殿様式の霊廟で、辛亥革命や戦争などで犠牲となった数十万の将兵が祀られている建物内での衛兵交代式の見学、その後は世界四大美術館のひとつと言われている故宮博物館を見学しました。中国式宮殿を模した建物で、その収蔵物は中国の歴史を伝える美術品や文物など総数70万点あまり、そのため展示できるのがごく一部だそうです。昼食はニューヨークタイムズ紙が世界10大レストランに挙げた飲茶の鼎泰豊（てんたいほう）で小龍包を楽しみました。昼食後専用バスで、関羽を祀る廟、商売の神様として信仰を集めている「行天宮」（シンテェンクォン）、台北市最古の仏教と道教の寺廟の「龍山寺」を見学、夕食は３日目の最後の晩ということで、市内ホテルで北京料理で宴会で楽しみました。

10日、今日は実質的には観光の最終日であります。最後の観光は蒋介石の偉業を記念して創られた巨大モニュメント国立台湾民主紀念館を見学する予定でしたが、当日が台湾独立記念日の国慶

台北　忠烈祠にて

故宮博物館にて

新幹線・高雄駅ホームにて

節で道路、施設の警備が厳重なため車窓からの観光になりました。最後は歴史ある円山大飯店を見学し、昼食は石鍋料理を食べ、全員元気で帰国の途に台北空港へ、午後４時30分発中華航空C1106便で成田へ、成田には午後８時40分に到着。全員無事元気に帰国いたしました。ご参加の皆様お疲れさまでした。

新幹線・高雄駅改札窓口

新幹線・高雄駅改札口

経営者のための「労働安全衛生セミナー」開催のお知らせ

従業員のメンタルヘルス対策は万全でしょうか？

川崎南法人会では会員を対象として「労働安全衛生セミナー」を２月13日（水）に開催いたします。平成18年４月に労働安全衛生法が改正され社員の過重労働やメンタルヘルス対策についての企業の責任がより一層重要とされる状況にあります。今回、福利厚生制度受託会社であるＡＩＵ保険会社の協力を得て、社員の過重労働およびメンタルヘルス対策についての講師を招き、わかりやすい解説を行っていただきます。会員企業の社員の「メンタルヘルス」「うつ病」「労働安全衛生」等の対策の一助としていただければ幸です。ご多忙とは存じ上げますが、ぜひご参加をお願い申し上げます。

≪日　時≫　平成20年2月13日（水）
午後2時～4時（1時30分開場）

≪会　場≫　川崎商工会議所　5階講堂

≪定　員≫　100名
（定員になり次第、〆切ります）

≪受講料≫　無　料

●申し込みは事務局迄　電話 044-233-4852
FAX 044-245-0023

南法人会 一口（ひとくち） コラム

以前、話題になり、今でも見かけるスーパーやコンビニの「万引きは立派な犯罪です」の張り紙、“れっきとした”ならまだ分かりますが、立派はやっぱり何か変ですよね・・・・。他にも店でよく見かける「猫の缶詰あります」も、横に「猫の砂あります」とあるから、猫用の缶詰と、トイレの砂だな、とすぐに分かるのですが、普通の缶詰を「人間の缶詰あります」なんて書かれてあったら・・・想像するだけで恐ろしーい、言葉の表現、言い間違いに要注意ですね。新年のある賀詞交換会でのこと、大先輩の話に感心した後輩くん、思わず「さすが〇〇さん、生き地獄ですね」・・・それを言うなら“生き字引き”でしょ！